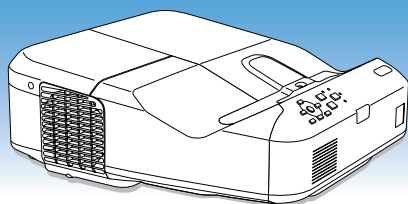


ビジネスプロジェクター EB-695WT / EB-685WT かんたん操作ガイド



本書では、以下を説明しています。

- ・ 投写して映像を補正するまでの基本操作
- ・ 機器の接続や映像の投写に関するトラブルの対処方法

目次

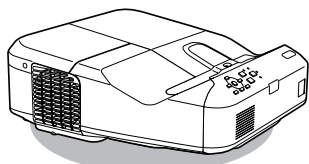


同梱品	2
マニュアルを見る	4
設置する	5
フットの取り付け (EB-685WT のみ)	5
投写する	6
コンピューターと本機を接続する	6
本機から映像を投写する	8
本機の電源を切る	9
映像を調整する	10
映像のサイズを変える	10
映像のピントを合わせる	11
映像の位置を調整する	11
映像のゆがみを直す	12
インタラクティブ機能を使う	13



困ったときに	20
映像が写らない	22
写っている映像がおかしい	24
機器の接続方法がわからない	26
電源が入らない、予期せず切れる	29
リモコンで操作できない	30
インタラクティブ機能が使えない	32
インジケータの見方	35
お問い合わせ先	36

プロジェクター本体

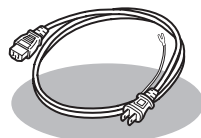


フット
(スペーサー付き 1 本、
スペーサーなし 2 本)

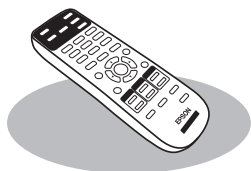


※ EB-695WT には同梱されていません。

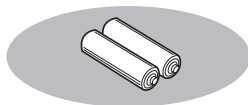
電源コード
(日本国内専用) 約 4.5m



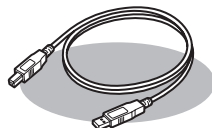
リモコン



単 3 形マンガン電池
(リモコン用)



USB ケーブル
約 5m



パスワード
プロテクトシール



- ・お客様情報
+ 正式保証書発行カード
- ・返信用封筒



EPSON Projector Software



[収録ソフトウェア]
EasyMP Multi PC
Projection

EPSON Projector Software
for Easy Interactive Function



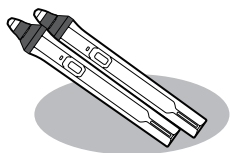
[収録ソフトウェア]
Easy Interactive Tools
Easy Interactive Driver

PenPlus
for EPSON 電子黒板 CD-ROM

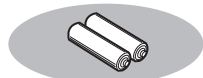


[収録ソフトウェア]
PenPlus for EPSON 電子黒板

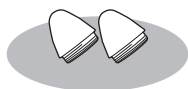
インタラクティブペン
(2 本)



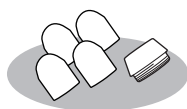
単 3 形マンガン電池
(インタラクティブペン用)



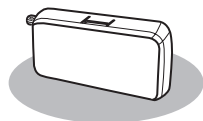
交換用ハードペン先
(2 個)



交換用ソフトペン先
(4 個)

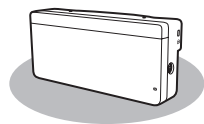


ペントレイ



EB-695WT のみに同梱されているもの

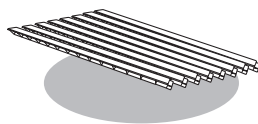
タッチユニット



タッチユニット接続ケーブル
約 2.8m



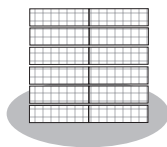
赤外線ディフレクター
約 28.5cm (8 本)



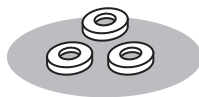
目印ラベル



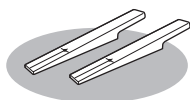
マーカー固定用テープ
6cm



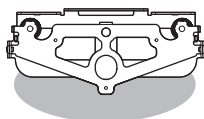
ネジ止め用スペーサー
3 個



マーカー
(2 個)



タッチユニット
取り付け金具



マニュアルを見る

本機には冊子のマニュアルと PDF のマニュアルが添付されています。
本機を安全に正しくお使いいただくために、マニュアルをよくお読みください。

冊子(紙)の マニュアル



●『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。

お使いいただく前に必ずご覧ください。

●『かんたん操作ガイド』(本書)

本機から映像を投写して補正するまでの基本操作を記載しています。

機器の接続や映像の投写に関するトラブルの対処方法も記載しています。

●『設置工事説明書』(EB-695WT のみ)

オプションの壁掛け金具を使って本機を壁に設置する方法を記載しています。

PDF の マニュアル



●『取扱説明書』

本機の操作方法全般と、プロジェクターメニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れ方法などを記載しています。

●『EasyMP Multi PC Projection 操作ガイド』

EasyMP Multi PC Projection の使い方を記載しています。

ネットワークに接続したコンピューターやスマートフォンなどの画面を同時に 4 台まで本機から投写できます。

●『Easy Interactive Tools 操作ガイド』

Easy Interactive Tools の使い方を記載しています。

本機から投写した画面上に文字や絵などを描画できます。

PDF のマニュアルは、以下のいずれかの方法でご覧いただけます。

※ PDF をご覧いただくには、Adobe Reader が必要です。

同梱の Document CD-ROM を読み込む

Document CD-ROM をコンピューターにセットして、PDF マニュアルをご覧ください。



EPSON のホームページからダウンロードする

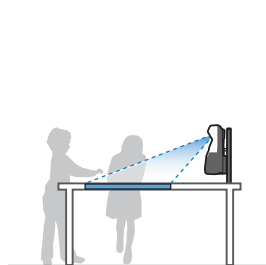
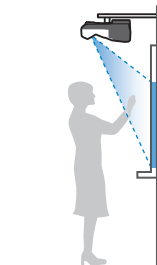
「製品マニュアルダウンロード」から、お使いのプロジェクターの型番を選んでマニュアルをダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/support/projector/>

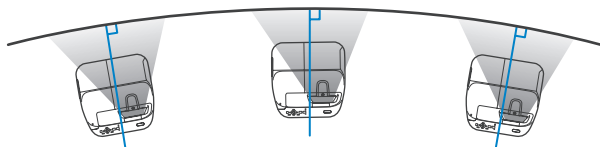
設置する

本機は以下の方法で設置できます。

- ・机などに置く
同梱のフットを使います。
- ・壁や天井に取り付ける
専用の取付金具が必要です。
- ・机などに縦に置く
専用の取付金具が必要です。

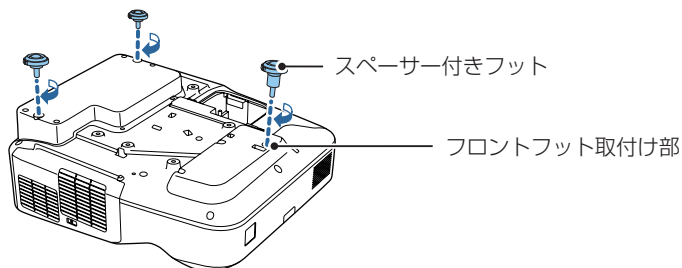


湾曲したスクリーンへ投写するときは、プロジェクターが投写面に対して垂直になるよう設置してください。



フットの取り付け (EB-685WT のみ)

本機を机などに置いて投写する場合は、フットを取り付けます。
スペーサー付きフットはフロントフット取付け部に取り付けます。



投写する

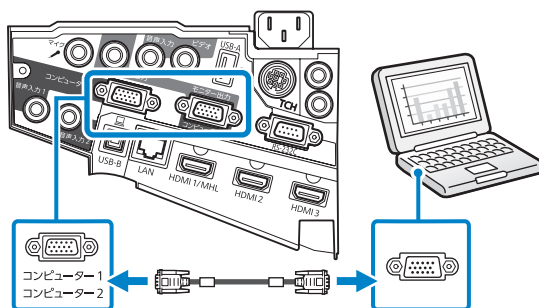
コンピューターと本機を接続する

コンピューターと本機を接続するときは、次のいずれかのケーブルが使えます。
インタラクティブ機能でマウス操作を行うときは、USB ケーブルを使って接続してください。

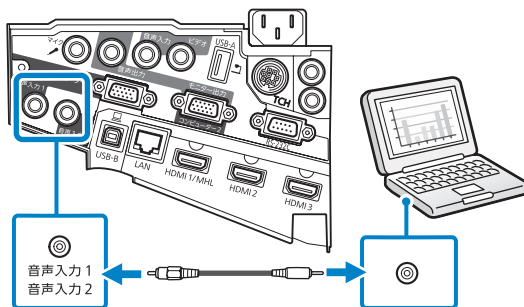
- コンピューターケーブル
- USB ケーブル
- HDMI ケーブル

■ コンピューターケーブルで接続する

コンピューターの映像出力端子と、本機のコンピューター端子を接続します。

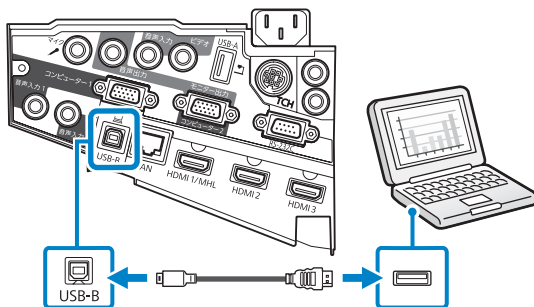


音声を出力するときは、市販の RCA オーディオケーブルをお使いください。



■ USB ケーブルで接続する

コンピュータの USB 端子と、本機の USB-B 端子を接続します。
USB ケーブルで接続すると、映像と同時に音声も出力されます。

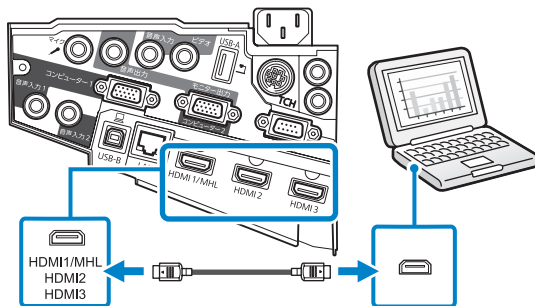


参考

- ・ USB ハブを使用すると正しく動作しません。USB ケーブルを直接本機に接続してください。
- ・ USB-B 端子は USB1.1 には対応していません。

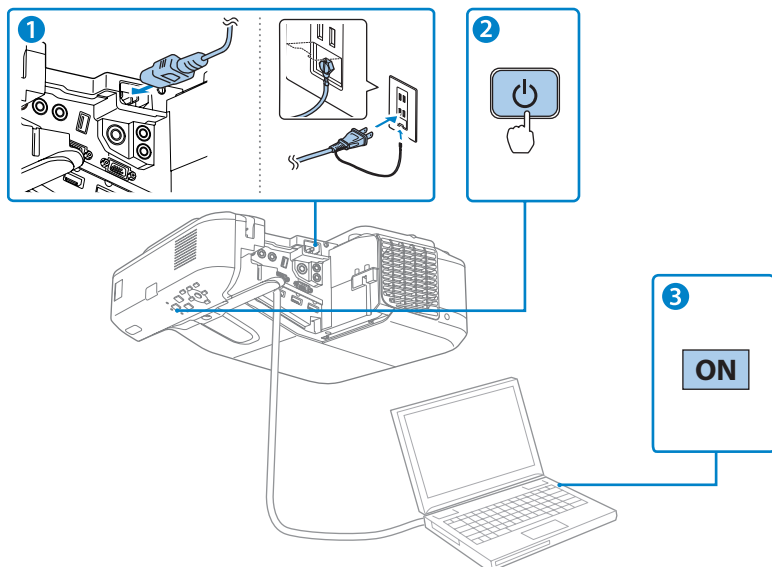
■ HDMI ケーブルで接続する

コンピュータの HDMI 出力端子と、本機の HDMI 端子を接続します。
HDMI ケーブルで接続すると、映像と同時に音声も出力されます。



本機から映像を投写する

コンピューターケーブルまたは USB ケーブルを使って、コンピューターの映像を投写する手順を説明します。



1 本機とコンセントを電源コードで接続します。

2 操作パネルの電源ボタン【】を押して、本機の電源を入れます。

「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケーター()が青色に点滅します(ウォームアップ状態)。

ウォームアップが終わると、ステータスインジケーター()が青色に点灯します。

3 コンピューターの電源を入れます。

コンピューターの電源が入ったら、お使いのケーブルに応じて必要な作業を行います。

⚠ 警告

- ・ 投写中はレンズをのぞかないでください。
- ・ 必ず接地接続を行ってください。
接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

⚠ 注意

- ・ 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- ・ 本機と接続機器を接続したあとに、本機の電源コードを接続してください。

■ コンピューターケーブルをお使いの場合

コンピューターの画面出力先を切り替えます。

コンピューターの Fn キー（ファンクションキー）を押したまま、
 昌/□ キー（外部モニターを表すアイコン）を押します。

■ USB ケーブルをお使いの場合

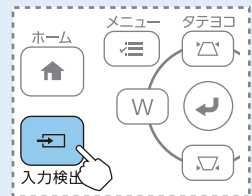
インタラクティブ機能を使う場合は、[拡張設定] メニューで [USB Type B] を [USB Display/ Easy Interactive Function] に設定します。

初めて接続するときは、画面の指示に従いドライバーをインストールします。

2 回目以降に接続すると、自動的に映像が投写されます。

参考

- 映像が写らないときは、リモコンまたは操作パネルの【入力検出】ボタンを押してください。

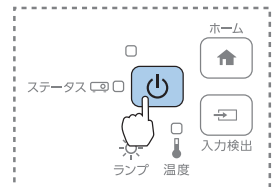


- ミーティングや授業などで複数のコンピューターの画面を投写するときは、同梱の EasyMP Multi PC Projection を使ってネットワーク経由で接続すると便利です。
- Epson iProjection を使うと、スマートフォンやタブレット端末の画面も投写できます。Epson iProjection は Google Play または App Store から無料でダウンロードできます。

本機の電源を切る

投写を終了するときは、操作パネルの電源ボタン【】を 2 回押して本機の電源を切ります。

「ピッピッ」と確認音が 2 回鳴った後、投写映像が消え、ステータスインジケーター（）が消灯します。



参考

- 投写している状態のまま、電源コードをコンセントから抜いて電源を切ることもできます（ダイレクトシャットダウン機能）。
- 電源を切ったあとは、クールダウンせずにすぐ片付けられます。

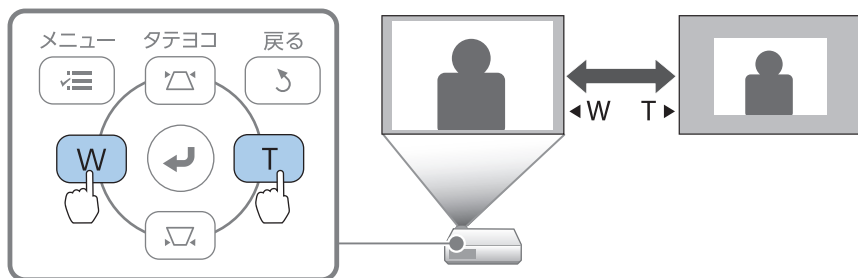
映像を調整する

参考

映像の補正を行うと、インタラクティブペンで描画している位置と実際に投写画面上に描画される位置がずれてしまうことがあります。映像の補正は、インタラクティブペンの位置合わせの前に行ってください。

映像のサイズを変える

操作パネルのワイド / テレボタンでサイズを調整します。

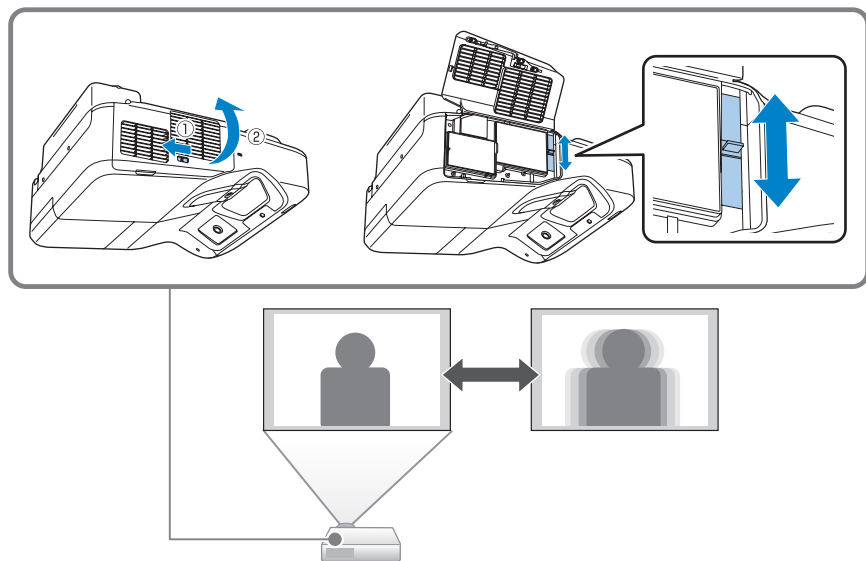


映像のサイズは本機とスクリーンの距離によっても変わります。

スクリーンに近づけると小さく、スクリーンから遠ざけると大きくなります。
詳細は、『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」をご覧ください。

映像のピントを合わせる

フォーカスレバーでピントを調整します。



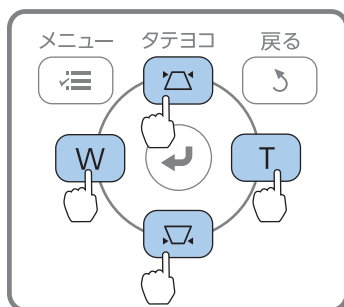
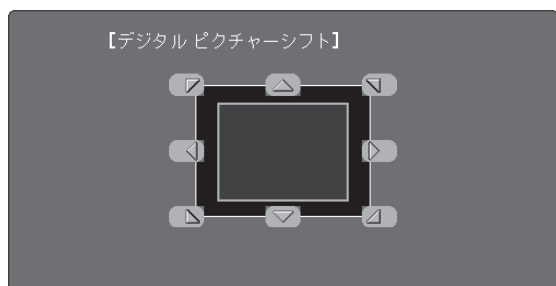
映像の位置を調整する

映像のサイズ調整またはタテヨコ補正を行うと、デジタルピクチャーシフト画面が表示されます。

➡「映像のサイズを変える」10 ページ

➡「平面のスクリーンに投写するとき（タテヨコ補正）」12 ページ

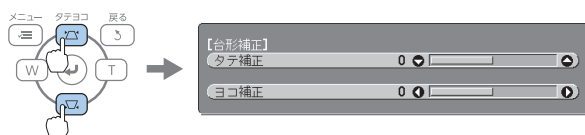
デジタルピクチャーシフト画面で上下左右ボタンを押して、投写位置を調整できます。



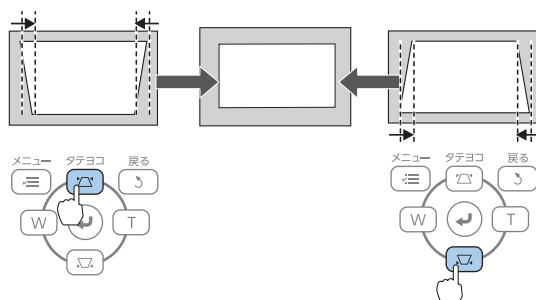
映像のゆがみを直す

■ 平面のスクリーンに投写するとき（タテヨコ補正）

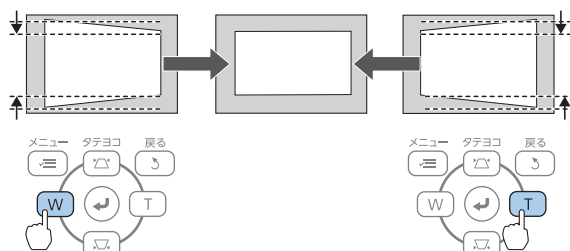
タテ方向・ヨコ方向のゆがみを個別に補正します。
操作パネルの台形補正 / 上下ボタンを押して、台形補正画面を表示してください。



タテ補正は上下ボタンを押します。

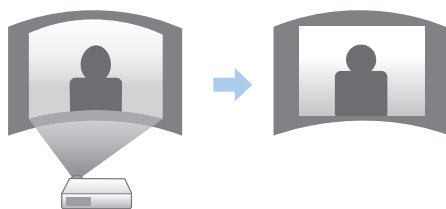


ヨコ補正は左右ボタンを押します。



■ 湾曲したスクリーンに投写するとき（湾曲補正）

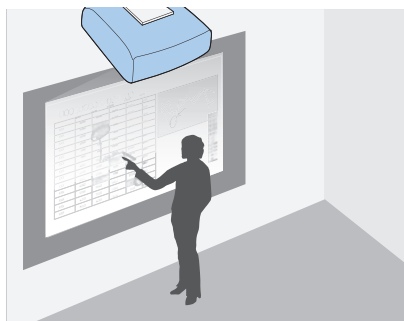
プロジェクターメニューから、[湾曲補正] を行います。



- 1 [設定] メニューの [幾何学歪み補正] から、[湾曲補正] を選択します。
- 2 画面の指示に従って、各辺の位置を補正します。

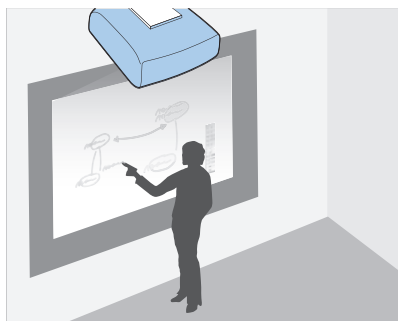
インタラクティブ機能を使う

インタラクティブ機能では、3つのモードが使えます。



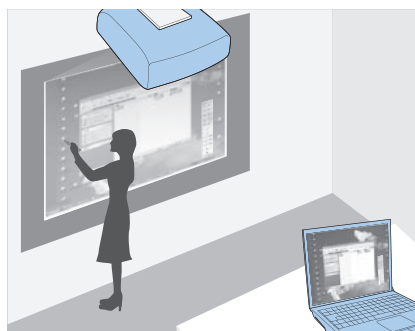
アノテーションモード

コンピューターなどから投写した資料に注釈を書き込みます。資料のポイントや補足を書き込んで、効果的なプレゼンテーションができます。



ホワイトボードモード

ホワイトボードのような無地の投写画面に描画できます。会議でホワイトボードの代わりに使用すると便利です。



マウス操作

投写画面でコンピューターを操作できます。コンピューターのマウスと同じように、クリックやドラッグ & ドロップなどができます。

目次

インタラクティブペンを使って操作する	14
自動ペン位置合わせを行う	16
指を使って操作する (EB-695WT のみ)	17
描画する (アノテーションモード / ホワイトボードモード)	18
投写画面からコンピューターを操作する (マウス操作)	19

インタラクティブペンを使って操作する

インタラクティブペンは2種類あり、ペン後方部の色が異なります（オレンジと青）。ペン後方部の色が異なるペンは、2本同時に使用できます。

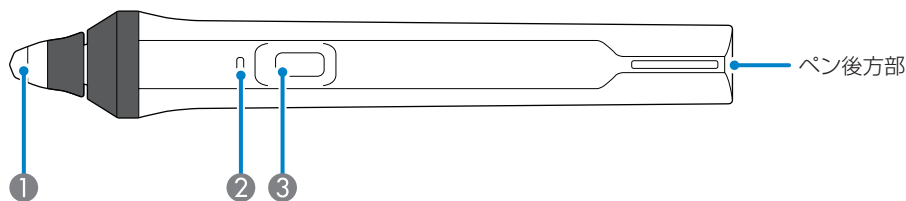
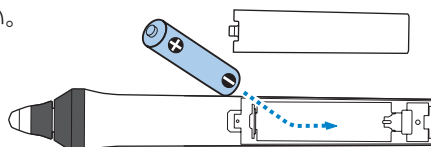
ペンを持つと電源が入ります。ペンを使い終わったら、投写画面から離れた場所に置いてください。

お使いになる前に電池（1本）をセットしてください。

交換用の電池は以下のいずれかを使用します。

- ・単3形マンガン乾電池
- ・単3形アルカリ乾電池
- ・eneloop® ※（BK-3MCC）

※ eneloop® はパナソニックグループの登録商標です。



① ペン先

交換できるソフトペン先です。

投写画面によってソフトペン先が使いづらいときは、ハードペン先に交換してください。

② バッテリーインジケーター

ペン側面にあるボタンを押したときに、電池残量をお知らせします。

- ・青色に点灯：電池残量は十分です。
- ・青色に点滅：電池残量が少なくなってきました。
- ・点灯しない：電池残量がありません。電池を交換してください。

③ ボタン

押すたびに、ペンの機能がペンと消しゴムで交互に切り替わります。ボタンの機能は[拡張設定]メニューの[ペンボタン動作]で変更できます。

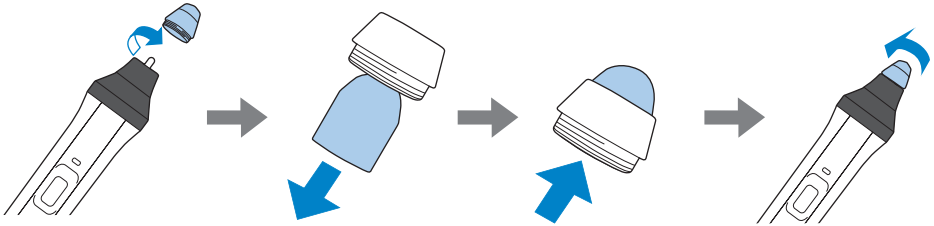
マウス操作時に押すと、マウス操作の右クリックができます。

参考

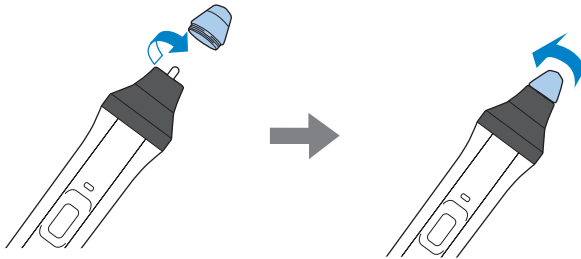
- ・ペンを置くと15秒後に自動的に電源が切れます。ペンを持つと再び電源が入ります。
- ・ペン先の黒い部分を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。ペンが動作しないことがあります。

お買い上げ時、インタラクティブペンにはソフトペン先が取り付けられています。

- ソフトペン先が汚れたり傷ついたりすると、インタラクティブペンの反応が悪くなります。
新しいソフトペン先と交換してください。



- 投写画面によってソフトペン先が使いづらいときは、ハードペン先と交換してください。

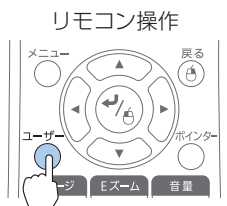


■ 自動ペン位置合わせを行う

以下のときにペン位置合わせを行います。

- ・ インタラクティブペンを初めて使用するとき
- ・ 投写映像の補正やプロジェクターの移動などでペン位置がずれてしまったとき

1 リモコンの【ユーザー】 ボタンを押します。

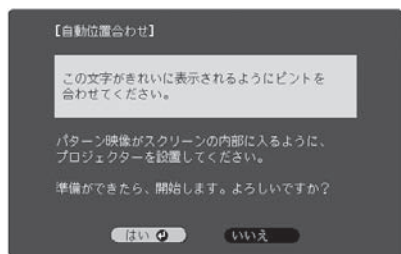


参考

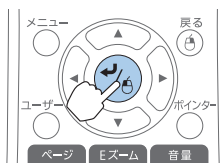
プロジェクターメニューから自動位置合わせを開始することもできます。[拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [自動位置合わせ] を選択してください。

2 表示されるメッセージに従い、ピントを調整します。

3 [はい] を選択します。



リモコン操作



4 パターン映像が投写され、ペン位置合わせが始まります。

完了するまで、しばらく時間がかかります。

パターン映像の投写中は、投写光の中に入らないようにしてください。

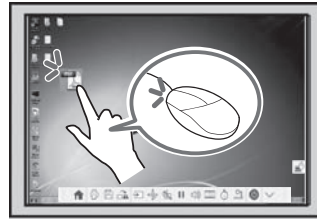
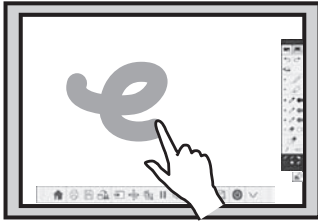
参考

以下の場合、手動位置合わせを行ってください。詳しくは『取扱説明書』『手動位置合わせ』をご覧ください。

- ・ 自動位置合わせに失敗したとき
- ・ 湾曲したスクリーンに投写するとき

指を使って操作する（EB-695WT のみ）

タッチユニットを取り付けると、指を使って投写画面への描画やマウス操作ができます（指タッチ操作）。

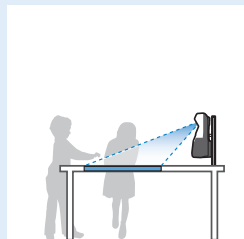
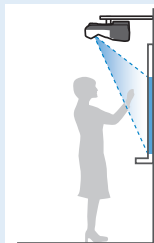


指タッチ操作を行うには、次の作業が必要です。詳しくは『設置工事説明書』をご覧ください。

- 1 タッチユニットを投写面に取り付ける
- 2 ペン位置合わせを行う
- 3 レーザー照射の角度調整を行う

参考

- タッチユニットを使うときは、以下のいずれかの方法でプロジェクターを設置してください。他の方法で設置すると、タッチユニットは使用できません。
- 壁掛けまたは天吊りして、スクリーンの正面から投写する
- 机上に縦置き設置して、机の正面から投写する



- タッチユニットの内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。タッチユニットを使用する前に、必ず『取扱説明書』『指を使って操作する』をご覧ください。

描画する (アノテーションモード / ホワイトボードモード)

アノテーションモードでは、投写した資料にインタラクティブペンで文字や図形を自由に描画できます。

ホワイトボードモードでは、ホワイトボードのような無地の背景が投写され、その上にインタラクティブペンで文字や図形を描画できます。

1 インタラクティブペンを投写画面に近づけます。

投写画面にツールバータブが表示されます。インタラクティブペンを使って投写画面に書き込みできます。

2 [◀] または [▶] ツールバータブを押します。

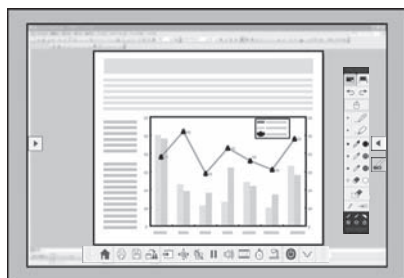
ツールバーが表示されます。

ツールバーの詳細は『取扱説明書』「インタラクティブ機能を活用する」をご覧ください。

3 ツールバーで各モードのアイコンを押します。

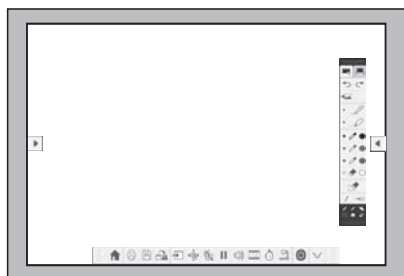
アノテーションモード：

[] を押すと、投写画面の上に次のようなツールバーが表示されます。



ホワイトボードモード：

[] を押すと、次のようなホワイトボード画面とツールバーが表示されます。



投写画面からコンピューターを操作する (マウス操作)

USB ケーブルでコンピューターとプロジェクターを接続すると、投写画面上でコンピューターを操作できます。

参考

OS X をお使いの場合は、Easy Interactive Driver をインストールする必要があります。詳しくは『取扱説明書』「投写画面でコンピューターの操作を行う（マウス操作）」をご覧ください。

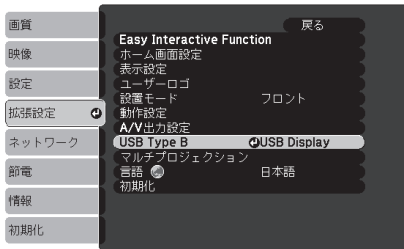
1 USB ケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続します。

参考

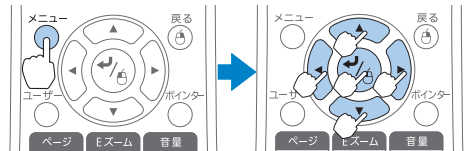
ネットワーク経由でマウス操作をするときは、USB ケーブルは不要です。

2 プロジェクターからコンピューターの映像を投写します。

3 [拡張設定] メニューで、[USB Type B] の設定をします。



リモコン操作



- ・コンピューターケーブルを使用して投写しているときは、[Easy Interactive Function] に設定します。
- ・USB ケーブルを使用して投写しているときは、[USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。

参考

- ・ネットワーク経由でマウス操作をするときは、[USB Type B] の設定は不要です。
- ・マウス操作からアノテーションモードに切り替えるときは、以下のいずれかの方法で切り替えます。
 - ・リモコンの[ペンモード] ボタンを押す
 - ・ツールバーの[マウス] を押し、表示された[ペン] を選択する



困ったときに

本機を使用中に起こりうるトラブルと、その対処法について説明しています。
トラブルが解決しないときは、裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。

映像が写らない

以下のときにご覧ください。

- ・接続している機器の映像が写らない
- ・投写画面に「映像信号が入力されていません」などのメッセージが表示される

➡「映像が写らない」22 ページ

写っている映像がおかしい

以下のときにご覧ください。

- ・映像がぼやける
- ・映像がゆがむ
- ・映像の一部が表示されない
- ・映像が乱れる
- ・映像が上下反転している

➡「写っている映像がおかしい」24 ページ

電源が入らない、予期せず切れる

本機の電源が入らないときや、使用中に電源が切れてしまうときにご覧ください。

➡「電源が入らない、予期せず切れる」29 ページ

インジケーターの見方

本機の状態(正常 / 異常 / 警告)を確認できます。

➡「インジケーターの見方」35 ページ

リモコンで操作できない

本機がリモコンでの操作に反応しないときや、リモコンを紛失したときにご覧ください。

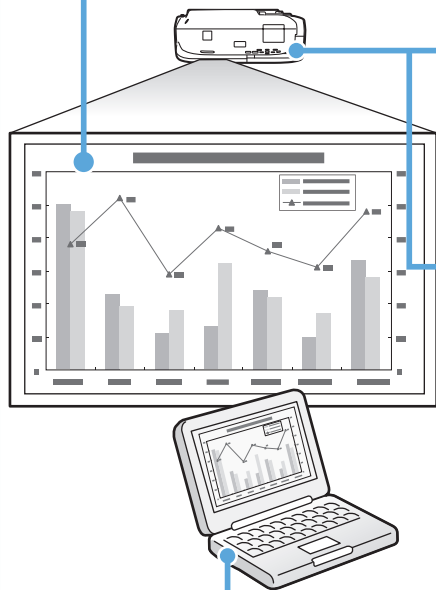
➡「リモコンで操作できない」30 ページ

機器の接続方法がわからない

以下のときにご覧ください。

- ・コンピューターを接続したい
- ・スマートフォン、タブレット端末を接続したい
- ・ビデオ機器を接続したい
- ・USB 機器を接続したい

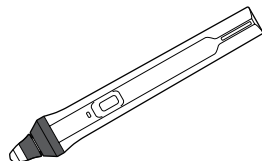
➡「機器の接続方法がわからない」26 ページ



インタラクティブペンがうまく使えない

以下のときにご覧ください。

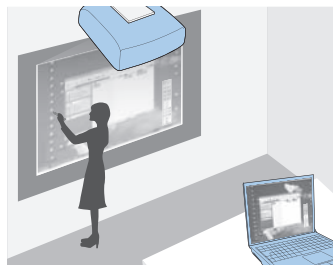
- ・インタラクティブペンが動作しない
 - ・インタラクティブペンで描画する位置がずれる
- ➡「インタラクティブペンがうまく使えない」32 ページ



投写画面からコンピューターを操作できない

以下のときにご覧ください。

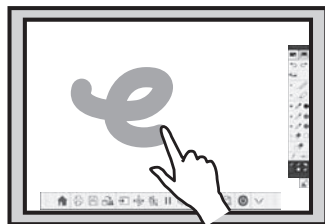
- ・マウス操作がうまく反応しない
 - ・意図した操作ができない
- ➡「投写画面からコンピューターを操作できない」33 ページ



指タッチ操作がうまくできない

以下のときにご覧ください。

- ・指タッチ操作がうまく反応しない
 - ・指で描画またはマウス操作する位置がずれる
- ➡「指タッチ操作がうまくできない」34 ページ



映像が写らない

Q. 以下の画面やメッセージが表示されていますか？

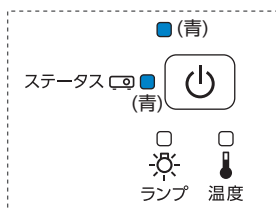
- ・ホーム画面
- ・青い画面
- ・「映像信号が入力されていません」などのメッセージ

はい

いいえ

プロジェクターの状態を確認する

- ・本機のインジケータが以下の状態になっていることを確認します。



インジケータの状態が上記と異なるときは、以下の手順に従って電源を入れ直してください。

➡「本機から映像を投写する」8 ページ

プロジェクターの電源が入らないときは、以下をご覧ください。

➡「電源が入らない、予期せず切れる」29 ページ

- ・リモコンの【AV ミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。

問題が解決しない場合

プロジェクターの設定を確認する

- ・操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- ・USB ケーブルでコンピューターと接続しているときは、[拡張設定] メニューで [USB Type B] を [USB Display/Easy Interactive Function] または [ワイヤレスマウス /USB Display] に設定します。

問題が解決しない場合

接続ケーブルの状態を確認する

- 必要なケーブル（電源コード、接続機器用のケーブル）がすべて接続されていることを確認します。
- すべてのケーブルのコネクターが、端子の奥までしっかり差さっていることを確認します。
- スイッチャーや AV アンプ、USB ハブなどを介して接続しているときは、本機と接続機器を直接接続してください。

問題が解決しない場合

接続機器の状態を確認する

機器の電源が入っていることを確認します。
必要の場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。

ノート型コンピューターを接続しているとき

- コンピューターの出力設定を切り替えます。
➡「本機から映像を投写する」8 ページ
- 入力映像が黒一色でないことを確認します。
- コンピューターがスリープモードでないことを確認します。
- USB ケーブルで接続しているときは、ドライバーが正しくインストールされていることを確認します。

問題が解決しない場合

すべて確認しても写らないときは

- 本機の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
➡「本機の電源を切る」9 ページ
➡「本機から映像を投写する」8 ページ
- 接続している機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- コンピューターを接続しているときは、コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。
詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

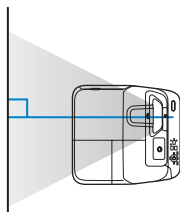
写っている映像がおかしい

映像の状態

映像がゆがむ



- ・台形補正機能を使って、手で映像を調整します。
➡「平面のスクリーンに投写するとき（タテヨコ補正）」12 ページ
- ・スクリーンと平行になるように、本機の設置位置を調整します。



映像がぼやける



- ・フォーカスレバーでピントを調整します。
➡「映像のピントを合わせる」11 ページ
- ・本機の設置位置がスクリーンから遠すぎるか、またはスクリーンに近すぎる可能性があります。本機の設置位置を調整してください。

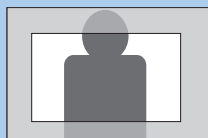
問題が解決しない場合

- ・コンピューターケーブルを使って接続しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、映像信号を最適化します。

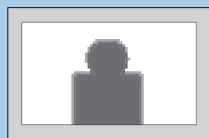


- ・本機のレンズを掃除します。詳しくは『取扱説明書』をご覧ください。
- ・コンピューターの映像を投写しているときは、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

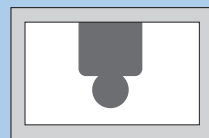
映像の一部が表示されない



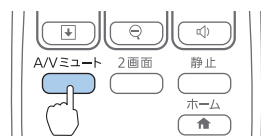
映像にノイズが入る、乱れる



映像が上下反転している



リモコンの【A/V ミュート】ボタンを 5 秒間押して、映像を反転します。



- ・コンピューターケーブルを使って接続しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、映像信号を最適化します。



- ・リモコンの【アスペクト】ボタンを押して、アスペクト比を変更します。
- ・リモコンの【E ズーム】ボタンで映像をズームしているときは、【戻る】ボタンを押して E ズームを解除します。
- ・コンピューターの映像を投写しているときは、以下をご確認ください。
 - ・コンピューターのデュアルディスプレイの設定が無効になっているか
 - ・ディスプレイの解像度が本機の対応解像度に合っているか

- ・コンピューターケーブルを使って接続しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、映像信号を最適化します。



- ・本機と機器を接続しているケーブルの状態を確認します。
 - ・干渉を受けないように、電源コードから離れているか
 - ・ケーブルの両端が確実に接続されているか
 - ・延長ケーブルを使用していないか
- ・コンピューターの映像を投写しているときは、以下をご確認ください。
 - ・ディスプレイの解像度が本機の対応解像度に合っているか
 - ・リフレッシュレートが本機のリフレッシュレートと合っているか

機器の接続方法がわからない

■ コンピューターと接続する

本機とコンピューターを接続するときは、以下のケーブルを使用できます。

- ・ コンピューターケーブル
- ・ USB ケーブル
- ・ HDMI ケーブル

各ケーブルでの接続方法は、以下のページをご覧ください。

➡「コンピューターと本機を接続する」6 ページ

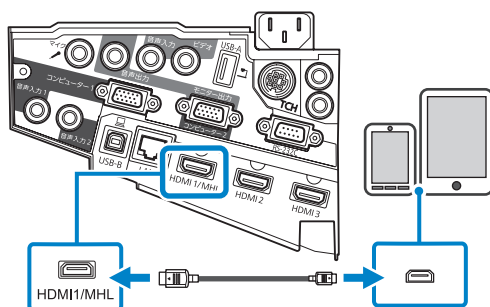
参考

ネットワーク経由でも、コンピューターと本機を接続できます。
詳しくは同梱の『取扱説明書』をご覧ください。

■ スマートフォン・タブレット端末と接続する

本機とスマートフォン・タブレット端末を接続するときは、市販の MHL ケーブルをご用意ください。

スマートフォン・タブレット端末の MHL 端子と、本機の HDMI1/MHL 端子を接続します。
映像と同時に音声も出力されます。



⚠ 注意

MHL 規格に対応していないケーブルを接続すると、スマートフォン、タブレット端末が高温になったり、液もれや破裂が生じたりするおそれがあります。

参考

- ・ 映像の投写中は、本機に接続しているスマートフォン・タブレット端末が充電されます。
- ・ MHL ケーブルの接続に対応していないスマートフォン・タブレット端末もあります。詳しくはお使いのスマートフォン・タブレット端末のメーカーへお問い合わせください。
- ・ スマートフォン、タブレット端末の機種や設定によっては、正しく投写できないことがあります。

ビデオ機器と接続する

本機とビデオ機器を接続するときは、以下のケーブルを使用できます。

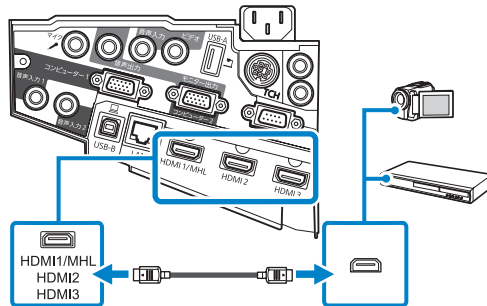
- ・ HDMI ケーブル
- ・ コンポーネントビデオケーブル
- ・ コンポジットケーブル

HDMI ケーブルで接続する

⚠ 注意

本機と接続する前に、接続機器の電源を切ってください。接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。

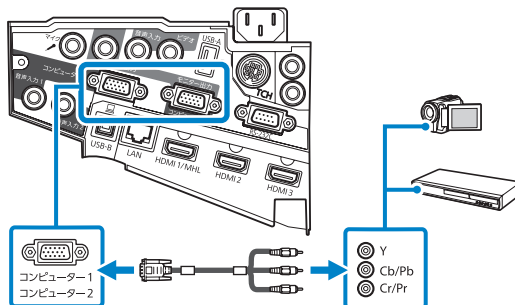
ビデオ機器の HDMI 出力端子と、本機の HDMI 端子を接続します。
HDMI ケーブルで接続すると、映像と同時に音声も出力されます。



コンポーネントビデオケーブルで接続する

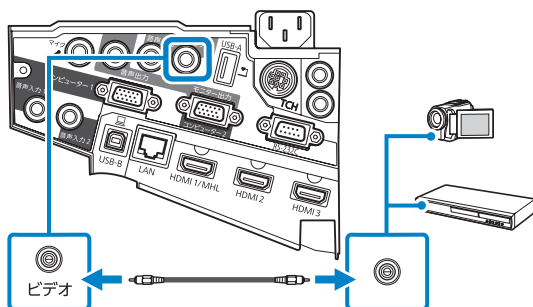
ビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子（緑、青、赤）と、本機のコンピューター端子を接続します。

音声を出力するときは、市販の RCA オーディオケーブルをお使いください。



■ コンポジットケーブルで接続する

ビデオ機器のビデオ出力端子（黄）と、本機のビデオ端子を接続します。
音声を出力するときは、市販の RCA オーディオケーブルをお使いください。

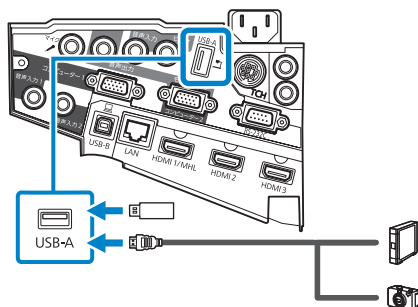


■ USB 機器と接続する

以下の USB 機器を本機に接続すると、USB 機器に保存されたデータを投写できます。

- USB メモリー
- デジタルカメラ、スマートフォン
- USB ハードドライブ
- マルチメディアストレージビューワー

USB 機器に電源アダプターが付属しているときは、USB 機器をコンセントに接続します。
本機の USB-A 端子に、USB 機器または USB 機器に接続した USB ケーブルを接続します。



⚠ 注意

- USB 機器に付属の USB ケーブル、または指定された USB ケーブルを使用してください。
- USB ハブや長さが 3 メートル以上の USB ケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

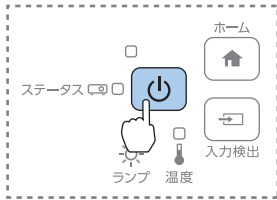
電源が入らない、予期せず切れる

Q. リモコンで操作を行っていますか？

はい

いいえ

操作パネルの電源ボタン【】を押して、電源が入るか確認します。



操作パネルを使って電源が入る場合は、以下のページでリモコンの動作をご確認ください。

➡「リモコンで操作できない」30 ページ

問題が解決しない場合

Q. 電源が入らなくなる直前まで、本機を長時間使用していましたか？

はい

いいえ

本機の内部温度が高温になっている可能性があります。

インジケータの状態をご確認ください。

➡「インジケータの見方」35 ページ

電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認して、再度電源を入れてください。

➡「本機から映像を投写する」8 ページ

電源コードが正しく接続されていても電源が入らないときは、電源コードが故障している可能性があります。

電源コードを抜いて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご相談ください。

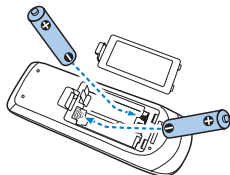
リモコンで操作できない

Q. リモコンはお手元にありますか？

はい

いいえ

- ・リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換してください。



- ・リモコンのボタンが押しこまれた状態になっているときは、ボタンを元の状態に戻してください。

リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

本機をお買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご相談ください。

問題が解決しない場合

Q. 本機からは映像が投写されていますか？

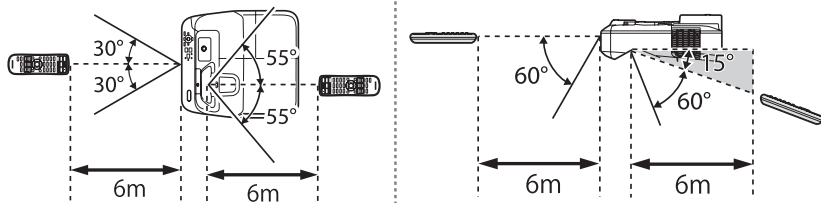
いいえ

本機がウォームアップ中またはシャットダウン中のときは、リモコンで操作ができません。本機の状態をご確認ください。

➡「インジケータの見方」
35 ページ

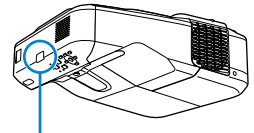
はい

受光可能範囲内でリモコンを使っていることを確認します。



問題が解決しない場合

リモコン受光部に強い光（蛍光灯の光、直射日光、赤外線機器の信号など）が当たっていないことを確認します。
リモコン受光部の周辺に強い光源があるときは、本機の設置位置を変更してください。

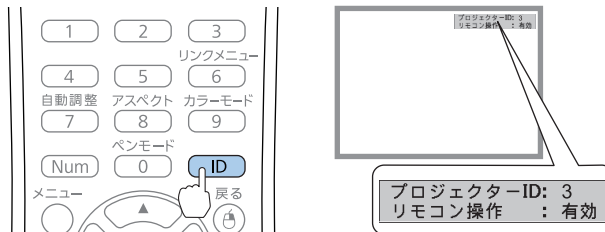


リモコン受光部

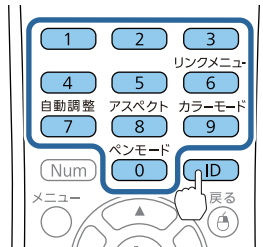
問題が解決しない場合

同じ部屋で複数台のプロジェクターを使っているときは、本機にプロジェクター ID が設定されている可能性があります。

リモコンの【ID】ボタンを押して、投写画面に表示される ID を確認します。



リモコンの【ID】ボタンを押しながら、投写画面に表示された ID と同じ番号のボタンを押します。



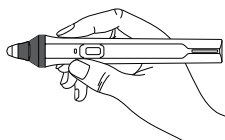
インタラクティブ機能が使えない

■ インタラクティブペンがうまく使えない

Q. ペン側面のボタンを押したときに、インジケーターが点灯しますか？

点灯する

- ペンの持ち方を確認します。
ペンの黒い部分を持っていると、インタラクティブペンが正しく動作しないことがあります。



- ペン先がすり減ったり汚れたりしているときは、新しいペン先に交換してください。

➡「インタラクティブペンを使って操作する」14 ページ

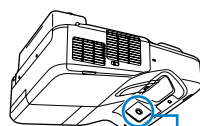
点滅する / 消灯したまま

インタラクティブペンの電池残量が少ないまたは無くなっています。
ペンの電池を交換してください。

問題が解決しない場合

インタラクティブペン受光部や投写面の状態を確認します。

- ペンと受光部との間に、ケーブルなどの障害物がないこと
- 受光部にホコリや汚れがついていないこと
- 受光部や投写面に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていないこと



インタラクティブペン受光部

問題が解決しない場合

- 赤外線リモコン、赤外線マイクなど、赤外線を使う機器からの干渉がないか確認します。
- 同じ部屋で本機を2台以上使用しているときは、プロジェクター同士が干渉して、動作が不安定になることがあります。オプションのワイヤードリモコンケーブルでプロジェクター同士を接続してください。詳しくは、『取扱説明書』「複数台のプロジェクターを接続する」をご覧ください。

問題が解決しない場合

再度、ペンの自動位置合わせを行います。

➡「自動ペン位置合わせを行う」16 ページ

自動位置合わせを行っても問題が解決しない場合は、手動位置合わせを行ってください。
詳しくは、『取扱説明書』「手動位置合わせ」をご覧ください。

■ 投写画面からコンピューターを操作できない

Q. 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続していますか？

はい

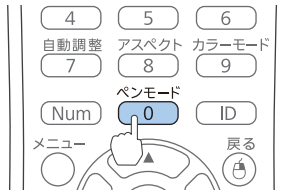
いいえ

投写画面からマウス操作を行うときは、
本機とコンピューターを USB ケーブルで
接続してください。
➡「USB ケーブルで接続する」7 ページ

USB ケーブルが正しく接続されているか確認します。USB ケーブルを一度外し、再度接続してください。

問題が解決しない場合

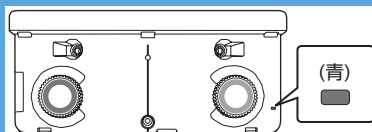
- ・リモコンの【ペンモード】ボタンを押して、[ペンモード] を [マウス操作] に設定してください。



- ・[拡張設定] メニューで [USB Type B] を [Easy Interactive Function] または [USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。

■ 指タッチ操作がうまくできない

Q. 本機の電源が入っているときに、タッチユニットのインジケーターが点灯していますか？



はい

いいえ

タッチユニットの電源がオフになっているか、またはタッチユニットに電源が供給されていない可能性があります。詳しくは『設置工事説明書』をご覧ください。

赤外線リモコン、赤外線マイクなど、赤外線を使う機器からの干渉がないか確認します。

問題が解決しない場合

- ・ 投写画面の前や周囲（約 10cm 以内）に人が立っていたり障害物があったりすると、指タッチ操作がうまくできないことがあります。
- ・ 衣服の袖や身体の一部が投写画面に近づいたり接触したりすると、指タッチ操作がうまくできないことがあります。投写画面から 1 cm 以上離れてください。

問題が解決しない場合

リモコンの【ホーム】ボタンを押して表示されるホーム画面で [⚙] を押して、[タッチ補正範囲] の設定を変更してみてください。

問題が解決しない場合

タッチユニットのレーザー照射口と投写画面の間に、ケーブル類やベントレイなどの障害物がないか確認します。投写画面の周囲に移動できない障害物があるときは、スクリーンに赤外線ディフレクターを取り付けます。詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。

インジケータの見方

インジケータは、本機の状態をお知らせします。
以下の表でインジケータの色と状態を確認し、
必要な対応を行ってください。

□ : 青色	☀️🌡️ : 橙色
■ : 点灯	■ : 点滅
□ : 消灯	■ : 状態依存

■ 正常動作時のインジケータの状態

スタンバイ	ウォームアップ / シャットダウン	投写中
ステータス □ □ □ □ ランプ 温度	ステータス ■ ■ □ □ ランプ 温度	ステータス □ □ □ □ ランプ 温度
電源ボタン【】を押すと投写を開始します。	電源ボタン【】を押しても反応しません（約 30 秒）。	通常動作中です。

■ 異常 / 警告時のインジケータの状態

内部異常	ファン異常 / センサー異常	内部高温異常	高温警告
ステータス □ ■ ■ ■ ランプ 温度	ステータス □ ■ ■ ■ ランプ 温度	ステータス □ ■ ■ ■ ランプ 温度	ステータス □ ■ ■ ■ ランプ 温度
電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。		- 壁側に設置しているときは場所を移動します。 - エアフィルターの清掃または交換をします。	
ランプ交換勧告	オートアイリス異常		
ステータス □ ■ ■ ■ ランプ 温度	ステータス □ ■ ■ ■ ランプ 温度		
新しいランプに交換してください。	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。		
ランプ異常 / ランプ点灯失敗	電源系異常 / 障害物検知異常		
ステータス □ ■ ■ ■ ランプ 温度	ステータス □ ■ ■ ■ ランプ 温度		
- ランプが割れていないか確認します。 - ランプが確実に取り付けられているか確認します。 - エアフィルターの清掃または交換をします。	- レンズ付近に障害物がある場合は取り除きます。 - 障害物検知センサーを掃除します。		

※ 上記の対応を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。

お問い合わせ先

● プロジェクターインフォメーションセンター

製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

● エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

● エプソンのホームページ

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

<http://www.epson.jp>

FAQ

皆様からお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。

<http://www.epson.jp/faq/>

● 修理品送付・持ち込み依頼先

本機が故障したときは、お買い上げの販売店へお持ち込みいただくか、下記の修理センターまでご送付ください。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒 003-0021 札幌市白石区栄通 4-2-7 エプソンサービス (株)	011-805-2886
松本修理センター	〒 390-0863 松本市白板 2-4-14 エプソンサービス (株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒 689-1121 鳥取市南栄町 26-1 エプソンリペア (株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒 900-0027 那覇市山下町 5-21 ウイングビル 2F エプソンサービス (株)	098-852-1420

※ 修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。

※ 上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

- ・松本修理センター：0263-86-7660
- ・鳥取修理センター：0857-77-2202

